

免許状教科	中学校社会、高等学校地歴・公民・商業 必修		
科目名	日本国憲法	科目分類	教職科目
			経済学科 ■必修 ■選択
			学科 □必修 □選択
英文表記	The Constitution of Japan	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年
ふりがな	わたなべ たけし	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中
担当者名	渡部 毅	修得単位	2 単位
授業のテーマ	憲法とはどのような法か、人権とは何か、人権を保障するための政治のしくみはどうなっているかを理解し、説明できるようになる。		
到達目標	日本国憲法の成立過程、基本原理、人権の保障、統治機構などについて、基本的な枠組みを理解することで、憲法が社会で果たしている役割がわかること。		
授業概要	日本国憲法の全体構造を把握し、説明できる。とくに、人権保障の面を中心に、具体的な例をあげながらお話をしていきます。		
授業計画			
第1回	憲法とは何か（憲法の意義・分類）		
第2回	大日本帝国憲法の概要		
第3回	日本国憲法の成立		
第4回	国民主権と天皇制		
第5回	権力分立制		
第6回	基本的人権の歴史		
第7回	基本的人権の体系		
第8回	人権の享有主体		
第9回	幸福追求権		
第10回	法の下での平等		
第11回	精神的自由		
第12回	経済的自由		
第13回	人身の自由		
第14回	国務請求権・参政権		
第15回	社会国家と社会権		
第16回	定期試験		
授業時間外の学習	社会や政治の動きに敏感になるため、新聞を継続的に読む(毎日 0.5 時間)。復習をきちんと実行しよう(1.5 時間)。高等学校で学習した「現代社会」や「政治・経済」の教科書の憲法に関して記述している部分は、内容が平易かつコンパクトにまとまっていますので、適宜、振り返って眺めてみよう。		
履修条件 受講のルール	特にありませんが、目的意識を持って学習してください。		
テキスト	特に指定しません。		
参考文献・資料	小型の六法で条文を適宜参照のこと。高等学校で使った「現代社会」や「政治・経済」の教科書。		
成績評価の方法	【レポート(20%)、定期試験(80%)】 上記評価項目を基にして総合的に判断します。 ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。</li> <li>・レポート課題は授業内に指示します。</li> </ul>
オフィスアワー	毎週火曜日 11 時～12 時および金曜日 13 時～14 時としますが、所用により不在の場合もあります。なお、これ以外の時間帯でも、研究室に在室して可能であれば、随時可能です。
成績評価の基準	平成 28 年度（2016）以降入学した学生 秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下) 平成 27 年度（2015）以前に入学した学生 優(100～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)
学生へのメッセージ	教職科目は、主に、将来、教師になろうと考えている学生が履修する科目です。真摯な履修態度であることを求めます。社会のさまざまな現象を、憲法を通してみる力を養うことができるよう頑張りましょう。